

週間感染症情報

2018年48週 2018年11月26日より2018年12月2日まで

麻疹	
風疹	
水痘(みずぼうそう)	3
ムンプス(おたふくかぜ)	1
百日咳	1
溶連菌感染症	8
手足口病	4
ヘルパンギーナ	1
伝染性紅斑	11
感染性胃腸炎	49
ロタウイルス(再掲)	
便アデノウイルス(再掲)	
突発性発疹	2
伝染性膿痂疹(とびひ)	3
ヘルペス性口内炎	
アデノウイルス感染症	1
RSウイルス感染症	1
マイコプラズマ感染症	1
インフルエンザ(臨床診断含む)	6
インフルエンザA	2
インフルエンザB	4
ヒトメタニューモウイルス	

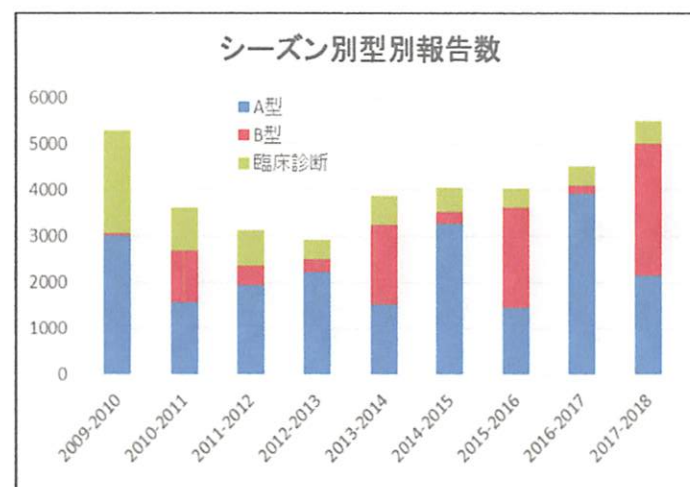
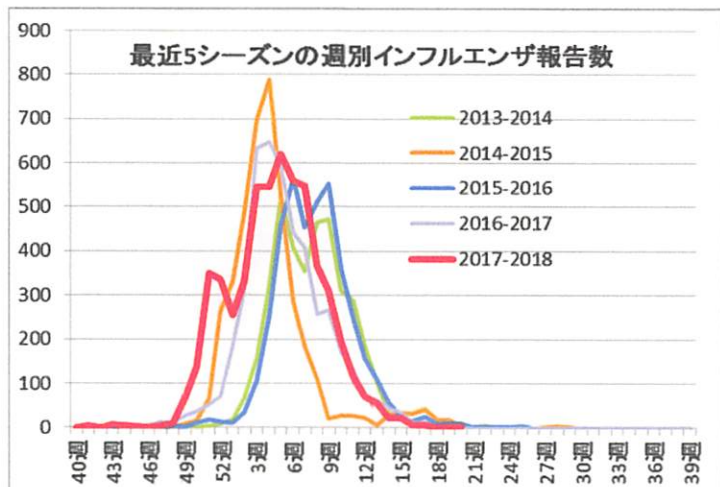
小児科外来の患者さんは少ないです。インフルエンザワクチンも手に入りにくくなって、ワクチン接種をお断りしています。昨シーズンは、左下のグラフからお分かりのように、47週よりインフルエンザAの報告が増えて、12月中旬に902例の報告がありました。年末年始の当番医の先生方は大変だったと思います。年始からはインフルエンザBの大きな流行となり、インフルエンザAとBと両方に患する症例も多く見られました。報告数は5500を超えて、2009-2010シーズンの5293を越える大流行になりました。今週はインフルエンザAが2例(感染源不明の成人例)、インフルエンザBが4例(すべて真備地区の小児例)でした。インフルエンザBは右下のグラフの様に、隔年で流行しています。総社市内では大きな流行にならないと予想していますが、今シーズンはどうなるでしょうか。

水痘は、3例とも岡山市内保育園の2回ワクチン接種済みの軽症例でした。

百日咳は、以前報告した症例の家族例です。

伝染性紅斑の報告は続いています。吉備中央町の保育園でも流行があり、総社市から周囲へ流行が拡大してます。

感染性胃腸炎は、多くありませんが、今週になり、嘔吐を主とするノロウイルスによると思われる症例が増えています。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyaiinsoja.webmedipr.jp/>)